

令和5年度

北島小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- ①主体的・対話的で深い学びを実現する学習指導方法の改善
- ②学び合いを深めるための、望ましい学習規律・学習習慣の確立

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員	校長	教頭	教頭	
高木真由美	研修主任				
	1年主任		2年主任	3年主任	
	4年主任		5年主任	6年主任	
	教務主任		特別教育支援コーディネーター		

校長

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎・基本的な知識・技能が身についている児童が比較的多く、課題に真面目に取り組む児童が多い。 ●書く活動、話す活動に置いて、得意な児童と苦手な児童の差が多い。 ●学習した知識を活用する力に課題がある。	・基礎・基本的な知識・技能を確実に身に付けることができる。 ・身に付けた知識・技能を他の学習や生活の場面において、活用することができる。	・言語環境を整え、板書や教材を工夫するとともに発問を精選し、授業を充実させる。 ・ドリルタイムや宿題を活用し、基礎・基本的な内容を毎日継続して実施する。定期的な小テストを実施して、定着を図る。 ・ノート指導を大切に、書く活動を充実させる。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○教師や友達の意見をしっかりと聞き、肯定的に受け取る児童が多い。 ●自分の考えを言葉にして説明したり、文章を書いたりすることに課題がある。 ●友達の意見を聞いて、更に自分の考えを深めることに課題がある。	・目的や相手を意識し、根拠や理由を明らかにして、積極的に自分の考えを話したり書いたりすることができる。 ・友達の考えのよさに気付いたり、自分の考えと比べたりして、更に考えを深めることができる。	・自分の考えを書く時間を確保し、ペア学習やグループ学習を効果的に取り入れ、話し合い活動を充実させる。 ・子供が主体的に学ぶ授業作りを考え、発問や助言により発言力を高める。 ・ドリルタイムで活用問題に取り組む。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学習に対して真面目に最後まで取り組むことができる。家庭学習の習慣が定着している児童が多い。 ●自ら課題を見つけ主体的に学習することに課題がある。困難な課題に対してあきらめず解決しようとする意欲が低い児童もいる。	・学習規律が身に付き、進んで学習に取り組んだり、発表したりすることができる。 ・学習活動に見通しをもち、自ら課題を見つけ、主体的に取り組むことができる。 ・困難な課題に対して、粘り強く取り組むことができる。	・「授業のスタンダード」を活用し、分かる楽しい授業を心がける。 ・ICTやペア活動、グループ活動を効果的に活用し、興味や関心を高め主体的に活動できるようにする。 ・めあて、まとめを明確にし、学習の振り返りをする時間を確保し、次の学習への意欲を高める。			

令和5年度 学力向上ロードマップ

